

## 普及活動情勢報告（平成29年4月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### オリエントルユリで効果を確認しました ～炭酸ガス施用実証ほ～



順調に生育した実証ほのユリ

4月上旬に、高知市長浜で実証していた炭酸ガス施用ほ場の切り花と切り下球の品質調査が終了しました。今回の試験では、切り花の蕾が大きく、茎が多少硬くなり、切り下球も対照区よりも肥大が良好な結果となりました。

担当農家からは、「今回の試験のほかにも、違うハウス環境や他の品種で試験を実施し、同様の良い結果が出れば、ユリ生産にとって面白い技術になるだろう」との評価を得ることができました。

普及所では、今後も継続して試験を実施し、より効果的な炭酸ガスの施用方法を検討し、農家の所得向上につながる技術の確立に努めていきます。

### ニーズに応じた米の産地づくりに向けて ～水稻の実証ほ設置～



慣れない手植えに奮闘中

4月12日に、水稻の県奨励品種決定試験の実証ほを設置しました。農家、関係機関と協力し、昔ながらの手での田植えを行いました。近年、夏期の高温により米の品質が低下しているため、今年度は高温でも品質が低下しない主食用米1品種と、酒米1品種について試験を行います。その他にも、県の育成品種「高育76号」や酒米の増収技術の検討など、合計7つの実証ほを設置する計画です。

普及所では、実証ほの結果については随時農家へ報告し、今後もニーズに応じた米の産地づくりを支援していきます。

### みんなでつなごうゆずのバトン ～高知市土佐山柚子生産組合総会、現地検討会～



ユズの誘引方法について説明

4月14日、高知市土佐山地域でJA高知市土佐山柚子部会の通常総会と現地検討会が開かれ、部会員等53名が参加しました。

普及所からは、ユズ産地計画関連で、産地目標の酢玉1,100tを安定供給するために、年3,000本を新植する必要性や労働力確保のためにJA高知市の無料職業紹介所の活用方法を提案しました。また、現地のユズ園に移動し、定植4年目のユズの主枝の誘引を、実際の作業をしながら説明し、開心自然形の樹形をつくる方法を実施しました。

普及所では、今後とも同組合の検討会に講師として参加し、部会の発展を支援していきます。

豊作予想の梅を使ったイベントを ～梅ノ木ファーム総会～



梅をめぐる提案を話し合い中

4月21日に、梅ノ木ファームの総会が行われ、組織の構成員9名、高知市鏡地域振興課2名、JA高知市1名、高知県地域本部1名、普及所1名が参加しました。総会では、取り組み品目の収益性についての質問や、表年にあたる今年の鏡草峰の梅園での収穫体験、梅漬けなどの加工まで含めた交流活動などの提案が出され、次回の役員会で検討することになりました。また、電動せん定バサミの導入による労働時間の縮減・支払賃金の削減が報告され、削減額が購入額を超えることができました。

普及所は、梅漬けやせん定作業の機械化などへのアドバイスをっており、引き続き、提案された内容への支援を行っていきます。